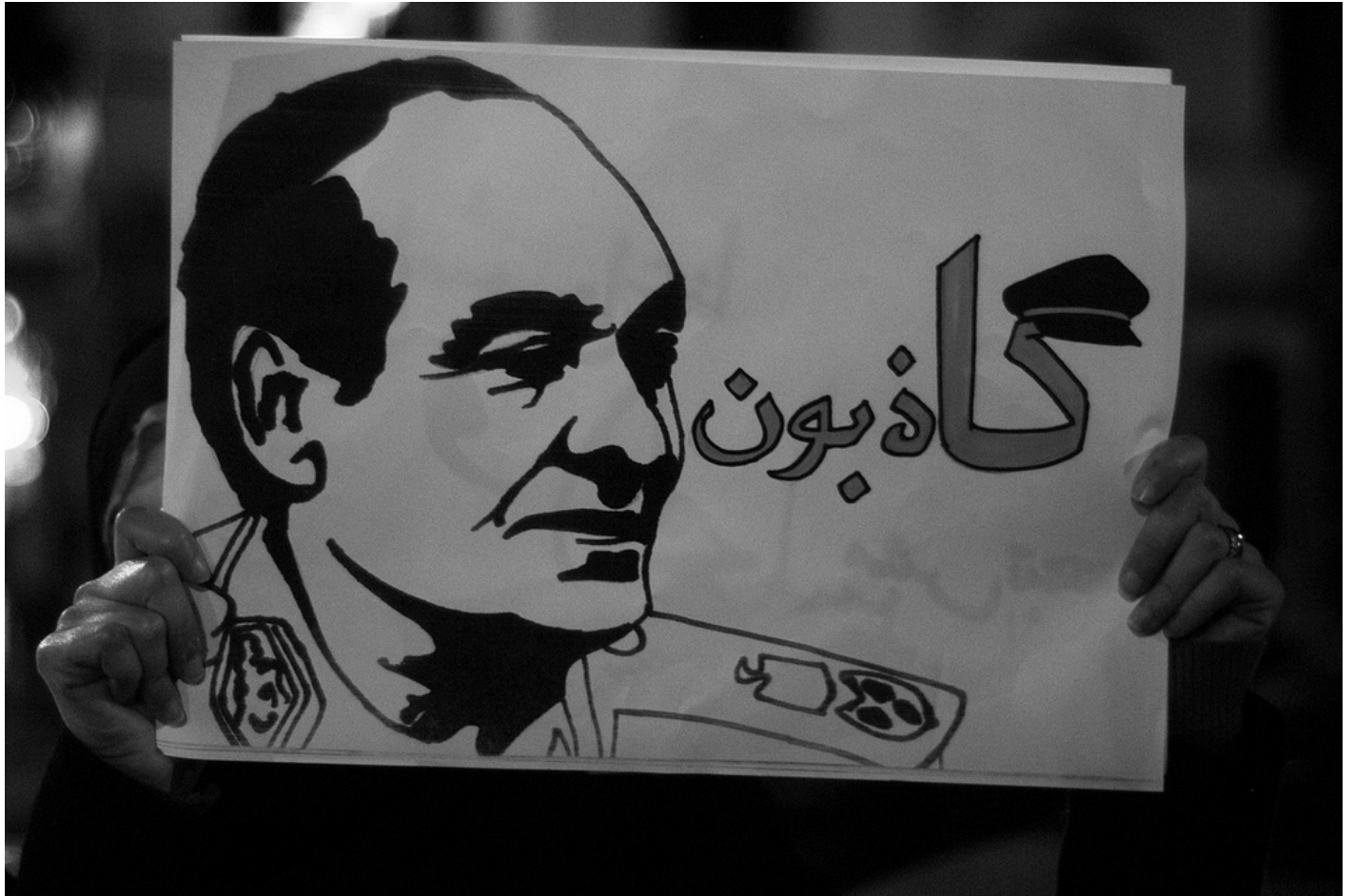


## Kazeboon: エジプトの反軍事キャンペーン

2011年エジプトの若者達からなるグループが、軍隊による一般市民への暴力を暴いた映画の大衆放映を催したことをHebatalla Tahaが伝えます。



2011年末、[Askar Kazeboon](#)

(軍事虚言者)と題したキャンペーンが、軍隊の「嘘」についての情報を知れ渡らせるためにエジプトの若者のグループによって開始されました。近所での**ビデオの放映**、行進、ソーシャルメディアなどの代替的草の根メディアを使い、平穏なデモ参加者を攻撃するなどの軍隊による大衆を標的として犯罪についての情報を広めることを目的としました。これら暴力は国家の安定を脅かそうとする国外第三者に帰すると日常的に主張する政府や軍隊によって支配されているメディアの安易なターゲットになるであろう、あまり世の中の出来事に敏感ではない、そして興味のない人々を具体的な対象者としました。同キャンペーンの主要な活動メンバーであるSally TomaはAl-Jazeera紙に「タハリール広場をタハリール広場からすべての近所に広げることが第一の目的だ」と言いました。

## 言論の自由についての討論

Thirteen languages. Ten principles. One conversation.

<https://freespeechdebate.com/ja>

---

### 写真やビデオの

軍隊による撤去への反発としてKazeboonはスタートしました。軍事最高会議 (SCAF) は最終的に「エジプトの女性達」に対して謝罪をしましたが、Kazeboonのキャンペーンは人気を集め、フェイスブックで92000人以上、ツイッターで44,000人以上の支持を得ました。

同キャンペーンの公共放映は、MohandisseenのGamaat Al Dowal Al Arabiyyaでの最も悪名高い例をはじめ

めとし、脅迫

、襲撃にあいました。Daq

ahlia州知事は同キャンペーンの映画の放映を[禁止](#)

しましたが、人々は公にこの禁止に逆らいました。Kazeboonは、SCAF支配が国家の安定を取り戻すのに必要不可欠だと論ずるSCAF支持者による暴力のターゲットになりました。

---

出版日：4月 5, 2012